

エリアウェーブ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2731
FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。峡東教育事務所のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email :adachi-scje@pref.yamanashi.lg.jp

「記録魔 日本人」

峡東教育事務所副所長 窪田新治

私の住む山梨市の八幡地区には大井俣窪八幡神社がある。この神社には昔、神仏習合の関係で境内周辺にいくつかの寺があった。その中で神社の別当上之坊普賢寺の住僧が代々書き綴った『王代記』という記録は、中世の甲斐の歴史を知る貴重な史料となっており、国の重要文化財である窪八幡神社とともに、歴史好きの私にとって密かな誇りとささやかな郷土愛を満足させるものとなっている。

ところで日本は「世界でも最も古い時期から大量に、かつ質の高い日記が作成され、残されてきた国である」と言われている。平安時代あたりから貴族、僧侶、武士が、また江戸時代以降は庄屋・名主階級や商人などが日記を綴っており、この中には日本の歴史研究の貴重な史料となっているものもある。いくつか有名なものをあげると、紫式部の『紫式部日記』、藤原道長の『御堂関白記』、伏見宮貞成親王の『看聞御記』、興福寺の塔頭多門院の僧、英俊などによって書き継がれた『多門院日記』。山梨県内でも武田家家臣、駒井政武の『高白斎記』、向嶽寺の歴代住職により書き継がれた『塩山向岳禅庵小年代記』など枚挙にいとまがない。また、日記ではないが、織田信長家臣、太田牛一の『信長公記』や、つい最近ユネスコの世界記憶遺産に指定された京都東寺の『東寺百合文書』など、日本にはおびただしい数の記録や文書が残されている。

筆不精の私などは、昔の人の筆まめさにただただ感心したり、執筆者の中には、生活の様子や日常に見聞したことなどを細々と記録し、明らかに記録魔と思うような人物もいて、「きっとオタクっぽい人もいたのだろう」などと、おもしろがったりしている。そう言う私も中学校1年の時に日記を付け始めてみたが三日坊主で、その後も何度か挑戦したがその都度挫折した。ただし、ここ10年ほど曲がりなりにも続けているものがある。それは山行記録と読書記録である。山行記録は、登山をしたその日の天気、同行者名、登山開始から下山までのコースタイムやコースの様子、簡単な感想を数行書き入れたものだ。また、読書記録は、書籍名、作者名、出版社名とやはり簡単な感想を数行書き入れたものだ。どちらも日記のように毎日書かないで済むし、感想などをたくさん書き込む必要もないので私のような不精者にはピッタリだ。こんなものでもおかしなもので、下山後や読了後に何かの都合で書けないしていると、書かないことが気になり、果ては罪悪感に苛まれる。ならばやめようかと思うがやめられない、習慣化しているのだ。

過去、日本人がこんなにまめに日記を付けてきたのはなぜだろうと思う。諸説あるかもしれないが、私なりに理由を考えると、歴史の中で日本人の識字率の高さは当然として、その他に日記は日々の生活の中で起こったことや見聞したことなどを記録し、しかも自省しそれを次に生かそうとするものであり、この日記を付けるという行為が、日本人の生真面目さや誠実さ、きめ細かさなどの特性や資質に合致する行為だったからだと思う。そして現在の日本人にもそのDNAは確実に受け継がれていると言ってもいい。良い例が日本には日記専門の出版社があり、年末にはどこの文房具売り場でも手帳や日記帳が売り場の一角を占め、多くの購入者がいる。また、最近では手段こそ違え若者を中心に行われているブログなどもその良い例だと思う。

現行学習指導要領は、知識・技能の習得にとどまらず、思考力・判断力・表現力の向上のため、言語活動の充実を求めている。言語活動の中で「書くこと」は表現力を高めるだけでなく、自分の考えをまとめたり整理したり高めたりすることにつながる。最初は日記を付けるところまでいかなくても、何らかの書く活動を習慣づけ、記録魔日本人のDNAを受け継ぐ子どもたちの「書く」という行為の質を高めていくことが教師には求められていると言える。

夏井いつきの こども 俳句教室

笛吹市生涯学習課

10月18日(日)に 笛吹市スコレーセンターにおいて俳句教室が開催されました。俳句集団「いつき組」組長であり、MBS「プレバト!!」俳句コーナーに出演中の夏井いつきさんを講師に招いて、小学校1年生から大人まで220人の参加者が、俳句づくりや句会ライブを楽しみました。

前半は、「子どもでも5分で作れる俳句の作り方」、後半は参加者のつくった入賞作品について、会場の皆さんと一体となったライブを行いました。“俳句には五音の季語と十二音の俳句の種があり、十七音になったらかっこいいけど、大事なのは他の人が言いそうもないことを言うこと。”など、夏井さんらしいトークでわかりやすく俳句の作り方を教えていました。また、参加者のつくった俳句についてどんな気持ちや情景を思い浮かべてつくられたのか、インタビューをしながら客席を回っていました。会場全体が時折爆笑の渦に包まれながら、温かな雰囲気の中ですてきな言葉を心にうかべた秋のひとときでした。



勝沼朝市 「朝おは」

甲州市立図書館

甲州市立図書館では、毎月第一日曜日に開催される「勝沼朝市」の一角に大型絵本の読み聞かせコーナーと読書スペースを提供する「朝おは」を5月から10月にかけて4回出店しました。家族と一緒に買い物に来た子どもたちが代わる代わる訪れて、絵本の読み聞かせに熱心に聞き入ったり、読書スペースでは思い思いに本を広げていました。朝市の賑わいの中で、ゆっくりとくつろぎながら本の世界を楽しむ空間が提供されていました。



山梨市子ども科学教室

山梨市生涯学習課・宇宙航空研究開発機構(JAXA)

山梨市生涯学習課では、子どもたちの科学に対する関心を高め、子どもたちの好奇心や探求意欲を喚起して豊かな心を育むことを目的に「子ども科学教室」を開催しています。宇宙航空研究開発機構(JAXA)の協力のもと、「宇宙」をテーマにして科学と宇宙の不思議や楽しさに触れる内容で年3回の教室が開催されます。10月3日(土)には夢わく山梨において第2回の教室が開催され、約40名の子どもたちが「空の色の一日の変化」「惑星モビールづくり」というテーマで、空の色と大気の関係、太陽系の惑星について学びました。子ども科学教室支援会の講師の説明と指導を受けながら、子どもたちは熱心に取り組んでいました。



ふれあい交流会 in 三富小2015

三富小学校

平成27年度福祉の心醸成事業・山梨芸術劇場

ふれあい交流会として、ふれあいわらべだいに あらほん 笛吹 童太鼓&阿羅漢コンサートが三富小の主催で、10月18日(日)に開催されました。三富小学校校歌が1、2年生児童により大きな声で歌われ、3~6年生笛吹童太鼓により「こきょうしんぶ 鼓響心舞」が演奏され、会場に力強い歌声と太鼓の演奏が響き渡りました。笛吹童太鼓は昭和62年に三富小児童らにより結成されました。この日に演奏された「こきょうしんぶ 鼓響心舞」は和太鼓演奏者の故天野宣氏が同校のために作った太鼓曲です。後半は、天野宣音楽事務所和太鼓アンサンブル 阿羅漢コンサートとして、「立ち太鼓ソロ」「打楽」「山」「鬼」などの演奏を聴き、大変感動的なふれあい交流会となりました。



桃花ダイスキマーケット

秋の大収穫祭

県立高等支援学校 桃花台学園

11月28日(土) 11:30~13:30

県立高等支援学校桃花台学園では、地域の方々とのふれあいを大切に、これまで4回の「桃花ダイスキマーケット」を開催してきました。生徒が日々の授業の中で真心をこめて栽培した野菜や植物、手作りのパンやクッキーの販売、おもてなしの精神を大切にした「桃花台カフェ」、隅々まで行き届いた清掃や装飾など、生徒たちの日常の活動を披露する機会として「桃花ダイスキマーケット」は次第に地域の中で定着してきました。5回目の開催となる11月28日(土)は、「秋の大収穫祭」と題して、普段のマーケットとはひと味違う工夫をこらして来場者をお迎えしようと、生徒たちは一生懸命に準備をしています。ぜひ多くの皆様の来場をお待ちしています。



「18才選挙権とネットモラル」

峡東地域県立高校PTA合同研修会

山梨高校・日川高校・塩山高校・笛吹高校の峡東地域県立高校PTAでは、近年大きな問題となっているネットをめぐる問題に地域の保護者・教師が連携・協力して取り組むための合同の研修会を10月20日(火)に山梨高校梨窓ホールにおいて開催しました。ネット教育アナリストで安心ネットづくり促進協議会副委員長の尾花紀子氏が「18才選挙権とネットモラル」というテーマで講演を行い、約90名の保護者・教師が参加しました。選挙権年齢の引き下げをふまえて、スマートホンの便利さの裏側に潜む危険についての説明と、スマホの操作やSNSの利用方法については長けている子どもたちも、ネットをめぐるモラルや安全に活用するための知識という点では未熟であり、大人から指導するべきことは多いという内容の講演でした。選挙権が拡大するこの機会に、ネットモラルについて親子で一度は話し合ってみてはいかがでしょうか。



就学に向けた保護者の学習会

峡東地域小学校

小学校の就学時健康診断にあわせて、小学校入学を控えた子どもの保護者を対象にした学習会が、峡東地域の各小学校で開催されました。「峡東地域家庭教育支援チーム」のメンバーや、市の主任児童委員、地域子育て支援士、保育士経験者、認定心理士らが講師になって、入学前に身につけておきたい生活習慣や学習準備についてアドバイスしました。楽しい学校生活と勉強の基盤となる「早寝早起き朝ごはん」、子どもとのコミュニケーションのとり方、学校や他の家庭との連携、子育てで困った時の対応などについての話しに、参加した保護者は熱心に耳を傾けていました。



塩山北小学校



奥野田小学校



祝小学校



東雲小学校

勸学院祭

山梨ことぶき勸学院

山梨ことぶき勸学院では、日頃の活動の成果を発表する第29回勸学院祭を10月15日(木)にコラニー文化ホールで開催しました。峡東教室からは1・2年生合わせて54名が参加して、合唱と踊りを発表しました。合唱は「花影」「七つの子」「ふるさとは今もかわらず」など5曲を熱唱し、最後に「これから音頭」の曲にあわせて息の合った踊りを披露して、会場から大きな拍手を受けました。各教室の発表終了後には、異世代交流として、県立市川高校音楽部による合唱が披露され、今年度全国大会に出場する素晴らしい演奏に聴き入りました。最後に勸学院生と高校生全員で、東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」を大合唱して、感動の内に閉幕しました。

展示発表は、12月4日(金)~6日(日)の日程で、日川高校同窓会館2階で行われます。



子育て支援リーダー・ステップアップ講座 班別自主研究発表会・閉校式

県社会教育課

子育て支援リーダー・ステップアップ講座は、地域での人間関係の変化に伴う子育てへの不安感を解消するために、子育て支援者の資質向上と支援活動を積極的に推進できる人材の養成を趣旨として実施されました。内容は、講義・ワークショップ・グループ自主研修で構成され、県立大学飯田キャンパスを中心に6月12日の開講式・第1回講座から10月23日の班別自主研究発表会・閉校式まで合計10回の講座が行われました。講師は県立大学の池田政子特任教授と高野牧子教授をはじめ県内外から招聘され、充実した講座が実施されました。自主研修グループは6つの班で編成され、5班は甲州市と山梨市、6班は笛吹市を中心とする受講者のグループでした。班別自主研究発表会では、5班が「親子で楽しむ手作りおもちゃ」、6班が『「ふえふき子育て応援ガイド」の作成・配布』のテーマのもと、素晴らしい発表が行われました。この講座を通して、受講した方々の熱心さとまとめ、実行力に大変感動しました。今後も地域の子育て支援リーダーとして、ますますご活躍されますことを期待しています。



ビブリオバトルやまなし2015

県社会教育課

ビブリオバトル(知的書評合戦)は、発表者が好きな本について5分間の制限時間の中で書評を発表し、それを聞いた観戦者が「どの本を読みたくなったか」という基準で投票をして、最多票を獲得した本を「チャンプ本」に決定する書評ゲームです。10月4日(日)に甲府東高校において、「ビブリオバトルやまなし2015」が開催され、白熱した書評合戦の結果、中学生の部では春日居中2年の棚原克巳さんが紹介した『王国は星空の下』(篠田真由美作)が、一般の部では甲州市の辻もえ子さんが紹介した『きみはいい子』(中脇初枝作)が見事「チャンプ本」に選ばれました。また、甲州市立塩山図書館では定期的に「ビブリオバトルin塩山」を開催していますので、興味ある方はぜひ一度観戦に訪れてみてください。



各部門のチャンプ本発表者

「やまなし少年海洋道中 八丈島現地研修」

平成27年度フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」が、8月1日～9日の8泊9日の日程で行われ、峡東地域からは10名が参加しました。八丈島到着後、まずはテントアップ、かまど作り等生活の拠点であるベースキャンプの設営を行いました。開村式の翌日からは、八丈島の小中学生との交流、シュノーケリング、漁業体験、クルージング、2日間にわたるサバイバル踏破、自主企画、閉村式、さよならセレブション等の活動を行いました。事後アンケートには、「水・食糧・仲間・家族の大切さが改めてわかった」「一生の思い出に残るだろう素敵な体験になった。」などの感想があり、貴重な体験をした夏でした。



子育て講演会「思いやりの育ち方」 プレストンこども園子育て支援センターえいわ

子育て支援センターえいわでは、10月16日(金)に山梨英和大学の佐柳信男先生を講師に迎えて、本年度第2回の子育て講演会を笛吹市春日居めぐり情報ステーションで開催しました。今回は「思いやりの育ち方～共感する力と道徳心～」というテーマで、道徳性・共感性の発達についての60分ほどの講演でした。道徳性・共感性・思いやりは誰でも生まれながらに持っており、経験を通して考えて気づくことで育っていくものであること、大人は子どもに対して教えてあげるのではなく、多様な見方があることに子どもが気づくように促してあげることが重要など、示唆に富んだ内容で、子育て最中の参加者たちは熱心に耳を傾けていました。



東山梨・笛吹市中学校新人体育大会結果ダイジェスト

東山梨中学校新人体育大会・笛吹市中学校新人体育大会が10月7日(水)に開催されました。1・2年生チームで臨む初めての公式戦でしたが、絶好の秋晴れの中、各会場で熱戦が繰り広げられ、各種目上位入賞校が、県中学校新人大会への出場権を獲得しました。各種目団体戦の優勝校は次のとおりです。

◆ 東山梨の優勝校 ◆

※個人戦について氏名の掲載は空えさせていただきました。

◆ 笛吹市の優勝校 ◆

野 球Aパート	山梨南中
Bパート	塩山北中
サッカー	塩山中
ソフトボール	山梨北中
バスケットボール	男子 山梨南中
	女子 塩山中
バレーボール	男子 山梨北中
	女子 塩山中
ハンドボール	男子 山梨南中
	女子 塩山中
卓 球	男子 塩山中
	女子 松里中
ソフトテニス	男子 山梨南中
	女子 笛川中
剣 道	男子 山梨北中
	女子 勝沼中
柔 道	男子 山梨南中A
バドミントン	男子 シングルス 勝沼中
	女子 シングルス 勝沼中



野 球	石和中
サッカー	一宮中
ソフトボール	浅川・石和中
バスケットボール	男子 石和中
	女子 浅川中
バレーボール	男子 一宮中
	女子 御坂中
卓 球	男子 一宮中
	女子 浅川中
ソフトテニス	男子 御坂中
	女子 石和中
剣 道	男子 浅川中
	女子 御坂中
柔 道	男子 御坂中
弓 道	男子 石和中D
	女子 石和中A
体 操	女子個人総合
	石和中



人権のための講演会

峡東地域教育推進連絡協議会主催

期日 平成27年11月17日(火) 受付13時30分 開会14時
 場所 笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館 多目的ホール
 講師 元東京都児童相談センター児童心理司
 山脇由貴子心理オフィス代表

山 脇 由 貴 子 氏



「現代のいじめの実態と解決のために」～子どもの人権を守るために、大人のできること～

児童心理司として、多くのいじめや子どもたちの心の問題に向き合ってきた経験をもとに、具体的な事例を通して現代の子ども社会のいじめの実態、被害者の心理的ダメージ、加害者の心理、そしていじめがエスカレートしていく構造について明らかにしていきます。いじめの被害から子どもを守るために、子どもの人権を守るために大人が何をすべきかという喫緊の課題について大きな示唆が得られるお話しです。

お問い合わせは峡東教育事務所まで。



笛吹高等学校紹介

開校6年目を迎えた笛吹高等学校を皆様にご覧いただくために、校訓をはじめとした様々な情報をお知らせいたします。

校訓 責任と信頼

教育目標

○自己の可能性を信じ、何事にも主体的
にチャレンジする生徒の育成

○広い視野を持ち、地域社会の形成に
進んで参画できる生徒の育成



主な年間行事予定

- 4月 入学式 新入生オリエンテーション
標準考査 部・委員会登録
- 5月 生徒総会 第1回定期考査
- 6月 ウェルカム笛吹 (2年)
- 7月 第2回定期考査・三者懇談・夏季課外
- 8月 夏季課外・標準考査・学校説明会
- 9月 学園祭 校内英語暗唱大会
- 10月 第3回定期考査 ランウォーク大会
上級学校・企業見学会 (2年)
- 11月 ふれあいフェスタ笛吹 修学旅行 (2年)
上級学校見学・インターンシップ (1年)
- 12月 第4回定期考査・冬季課外・三者懇談
- 1月 冬季課外・標準考査
- 2月 スキー教室 (1年)
- 3月 卒業式 第5回定期考査

本校は普通科、食品化学科、果樹園芸科、総合学科の4学科を擁する総合制高校です。1学年に約300名、学校全体では900名近い生徒が在籍し、その規模は県下最大級です。豊富なマンパワーを生かし、部活動も活発に行われています。体育局では自転車部やソフトテニス部、ライフル射撃部をはじめとする多くの部が、文化局では植物研究部や翠櫨太鼓部などの部が関東大会や全国大会に出場しています。

学校行事も様々なものが行われています。6月のウェルカム笛吹は果樹園芸科が育てたベゴニアをプランターに寄せ植えし、石和温泉駅周辺の道路などに設置するものです。笛吹市に観光で訪れる方や、地域の皆様の目を楽しませることができると自負しています。10月には地域の皆様の理解とご協力を得て、ランウォーク大会を実施しています。本校を出発、奈良原、鳥坂峠を経て上芦川農産物直売所にて折り返し、再び学校に戻る全長32.4kmのコースを制限時間6時間20分で走破あるいは完歩するものです。秋晴れの空の下それぞれのペースで全力を尽くす生徒を目にした際には、是非温かいご声援をお願いいたします。11月にはふれあいフェスタ笛吹が行われます。山梨園芸高校の収穫祭の流れを汲む行事で、果樹園芸科で育てた野菜や、食品化学科で製造した食品を地域の皆様に販売するものです。普通科や総合学科の生徒もそれぞれのクラスや系列で模擬店を開き、行事に彩りを添えています。

本校は地域に開かれた学校でありたいと考えています。これからも地域の皆様とふれあえる行事を企画したり、気軽に授業をご覧いただける機会を設けたりして参りますので、皆様の変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。